

## 【2】生徒の実態

今年度、18名の生徒の学級集団の編成は、表1に示すとおりである。

表1 中学部の集団編成

学年	生徒		併せ持つ障害の実態	教育暦	
	男子	女子			
1年	3名	4名	自閉症・ダウン症候群・染色体異常	本校小学部から	3名
				他校より入学	4名
2年	4名	2名	プラダーウィリー症候群・ダウン症候群・ソトス症候群	本校小学部から	3名
				他校より入学	3名
3年	3名	3名	もやもや病・ダウン候群症・てんかん・自閉症	本校小学部から	3名
				他校より入学	3名

### 1. 学部集団の特色

- 得意な活動や、上手にできること等に対しては、意欲的に取り組むことが多い。
- 初めての活動や、少し苦手な活動に対しては、「上手にできるかな」と不安を感じたり、自信のなさをもどかせたりする場面がある。
- 親しい人に対しては、積極的にかかわりを求め、やり取りを楽しむ。
- 校外での活動や、交流などを通して、学校外の社会の中での自分を意識し始める生徒も見られる。

### 2. 自分づくりの段階

教師の観察や学生による新版K式発達検査をもとに捉えた自分づくりの段階は表2に示すとおりである。

表2 自分づくりの段階表

MA	自分づくりの段階		生徒		
			1年	2年	3年
9歳	自己客観視				
	自己形成視の獲得				
5歳	自己客観視のめばえ	自分づくりの始まり			T
	4歳後半	自利心の形成			
4歳前半 3歳後半	自利心の芽生え	自我をコントロールできる もう一人の自分	B C D E F	I J M	O
	3歳前半	自我と自己主張の 矛盾拡大	もう一人の自分のでき始め	H L	S
2歳後半	自我の充実		Gについては 表記が難しく 左にNで示す。	k	Q R
2歳前半	自我の拡大				P
1歳後半	自我の誕生	感情・意欲の育ち			
1歳前半			A		

(中垣克彦)